

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 友の会	代表者	大島 良助	法人・ 事業所 の特徴	当事業所は JR 八戸駅より車で5分程にある田面木地区にあり、古くからの住宅地です。国道104号線沿いにあり、八戸市の景勝のひとつ、在家堤（ざいけつつみ）に面しています。町内会や地域の協力の下、認知症高齢者や独居高齢者の暮らしの支援を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム ほっとハウス	管理者	水野 雄大		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①サービス評価への取組み期間を早めに設定し、職員間でより密に確認、検討できるようにする	サービス評価について早めの取組みは出来なかったが、事前勉強会を行い、自己評価の回答を具体的に把握することが出来た。	質問によってはどう捉えるべきか分からない所があった。	サービス評価に対する勉強会を行うとともに、個々に質疑応答し内容を把握出来る環境を作る。
B. 事業所のしつらえ・環境	①次月のサービス予定表について、全職員で把握できるよう見やすいように掲示し、利用予定の確認や急な対応に誰でも速やかに対応できるようにする。	サービス予定表が活かされ、利用の変更等に即時に対応出来るようになった。	ホームページをみたが、施設が明るい雰囲気が伝わり、良く出来ていると思う。また、広報誌も工夫していると感じる。	①利用者からの具体的なニーズに対して、どのようにすれば実現できるのかを、チームを作り検討、実行していく。 ②利用者ごとの担当職員がケアプランの目標やサービス内容を確認した後、普段のケアをしている中で、利用者の反応や状態を全職員から情報収集する。それをもとにケアプランについて、評価と共に目標やサービス内容をケース会議の場や直接ケアマネジャーと意見交換し作成する。
C. 事業所と地域のかかわり	①施設敷地内に掲示板を設け、行事の開催内容やお知らせなどを見やすいように掲示し、地域の方が気軽に立ち寄れる環境を作る。	町内の活動等には積極的に参加していたが、施設内でのイベントへ参加してもらえ環境作りが少なかった。	事業所名は分かりやすい位置にあるが、何をやっている所か分からない為、出入りしにくい印象がある。よって、大きめの看板や掲示板を設置して、行事のお知らせや介護相談等、地域の方が分かりやすいような工夫をしてもいいのではないか。	①施設で行っている行事等について、お知らせを施設外に掲示し、地域の方が気軽に来所しやすい環境を整える。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	①ご利用者が住んでいる地域で活動している慰問団体やボランティアを探し、当施設に来ていただいて、ご利用者と触れ合う機会を多く持つ。	利用者の地域で活動している踊りの団体が定期的に来所され、交流する機会をもっている。	地域の町内会長や民生委員の方は、様々な役割を持っており早急な対応が難しい時もある為、その他のネットワーク作りをし、すぐに対応出来る体制作りも必要である。	①利用者の住んでいる地域の民生委員や地域の町内会長、近隣の方等を把握しておき、一人暮らしや高齢者夫婦世帯、日中独居等の方で施設を利用していない時でも、何かあったら連絡してもらような体制を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	①普段回覧や申し送りで内容確認している運営推進会議に全職員が交代で出席し、意見交換できる体制を作る。	運営推進会議には交代で全職員が出席出来るような体制を作っている。	運営推進会議では、気兼ねなく色々な事をオープンに話せる環境にあります。また、職員の方も順番に参加している事も良いことだと思うので、継続して行ってほしい。	①インシデント・アクシデントがあった際は、その日のミーティングで対応策を検討する。対応策が決定した時点で家族へ報告をし、自宅でも様子を見て頂くようお願いする。また、その後に送迎に行った職員は、自宅での様子をご家族から確認する。事故やヒヤリハットについては、高齢者世帯に起こり得る事として、運営推進会議で都度報告する。 ②最新の身体拘束やプライバシー配慮についての勉強会を行い、事業所内でケアの認識の統一を図る話し合いの場を設け、決定したことはケア会議で全職員への周知と運営推進会議での報告を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	①年2回の法定訓練に加え、火災や天災等の事例を設け、1ヶ月から2か月に1回程度想定訓練を行う。	年2回の法定訓練や夜間を想定した避難訓練は実施する事が出来た。	自主防災の関心を高める為にも、地域との防災訓練を積極的に行っていた方が良いと思う。	地震や水害等の天災等を想定した避難訓練を実施する。